

## 2年音楽科学習指導案

平成15年10月10日(金) 第4校時

2年1組 男子20名 女子18名 計38名

指導者 教諭 時見 里絵

### 1 題材 わが国の音楽に親しもう

教材「鹿児島おはら節」

### 2 題材設定の理由

日本の歴史的経緯から見ても、日本の伝統音楽に対する興味・関心は低い。さらに郷土の音楽に対しても、身近な音楽にもかかわらず、同じことが言える。しかし、ここ最近、島唄を生かした流行歌や和楽器によるポップスの演奏などの影響により、関心が高まりつつある。また、学習を進めていくうちに、その良さを感じ取る例も少なくない。

そこで、本題材では、生徒にとって馴染みのある歌唱曲と郷土の音楽の中でも、聞き覚えがあると思われる鹿児島の民謡を聴き比べながら、郷土の音楽についての特徴を気付かせ、知識や理解を深めた表現活動をさせる。また、自分たちが生まれ育った「我が国の音楽」を大切にす気持を養うと共に様々な音楽に積極的にかかわっていく生徒の育成を願って、この題材を設定した。

### 3 指導目標

(1) 郷土の音楽の特徴を生かした表現活動をさせる。

### 4 題材について

#### (1) 学習指導要領との関連

表現教材は「我が国及び世界の古典から現代までの作品、郷土の民謡など我が国及び世界の民謡のうち、生徒の意欲を高め親しみの持てるものであること。」と、学習指導要領に明記してある。

#### (2) 郷土素材に関する生徒の実態

体験活動が乏しく、表現活動を苦手とする生徒が多い。ここ数年、本校の指導目標の中でも「歌わせる」ことに重点を置き、最近、ようやく歌うことに慣れてきたようである。対象学級の生徒は、歌うことは、わりと好きな生徒が多いが、郷土の音楽(民謡)となると、ほとんど関心のない生徒が多い。

① あなたは音楽が好きですか。

ア 好き 52.6%      イ どちらかといえば好き 34.2%

ウ どちらかといえば嫌い 7.9%      エ 嫌い 5.3%

② 民謡に興味や関心がありますか。

ア ある 0%      イ 少しある 23.7%      ウ ほとんどない 76.3%

③ (2の答えから)それはどうしてだと、自分で思いますか。

「少しある」と答えた生徒

- ・現代風にアレンジしてあってよい。(4人)
- ・不思議な感じの曲調がよい。(3人)
- ・昔の音楽の様子が分かる。(1人)
- ・歌によって特徴があってよい。(1人)

「ほとんどない」と答えた生徒

- ・趣味じゃないから。(13人)
- ・あまり聞く機会がないから。(4人)
- ・ノリが悪いから眠くなる。(3人)
- ・古い感じがするから。(2人)
- ・つまらないから。(2人)
- ・民謡についてくわしく知らないから。(2人)
- ・歌えないから。(1人)
- ・無回答(2人)

④ 民謡に対してどんなイメージを持っていますか。

- ・昔(6人)                      ・古い(6人)                      ・おじさんおばさん(4人)
- ・ゆっくりとした音楽(4人)                      ・元 ちとせ(3人)
- ・昔から続けている(2人)                      ・和(2人)
- ・つまらない(1人)                      ・眠くなる(1人)                      ・郷里(1人)
- ・阿波踊り(1人)                      ・神秘的(1人)                      ・子守唄(1人)
- ・裏声ばかり使っている(1人)                      ・少し馴染みがある感じ(1人)
- ・変な曲(1人)                      ・ない(3人)

生徒は2つの小学校から通っており、小学校によっても学習してきたことに差がある。日本の伝統音楽では「箏」を扱った学習を両校共に行っているが、実際楽器に触れているのは一校だけで、郷土の音楽に関しては、両校とも重点的な学習がされていない。上記の実態をふまえて、中学校一年時に、鹿児島県の民謡「ようかい」「鹿児島小原節」「妙円寺詣りの歌」について表現活動を行ったが、あまり関心は高まらなかった。

### (3) 指導上の留意点

- ① 鑑賞の際、できるだけ多くの特徴を引き出せるよう楽譜を見せながら聴かせる。
- ② 民謡の特徴を生かして表現活動をさせる。

## 5 指導計画 (全5時間 本時1/5時間)

次		一次		二次		
時間		1	2	3	4	5
教材	鹿児島小原節			→		
	箏曲「六段の調」					→
指導目標		・郷土の音楽の特徴を生かした表現活動をさせる。		・日本の音楽の独特な情緒や雰囲気を味わわせる。 ・箏の音色や奏法による表現の特徴や豊かさを 感じ取らせる。		
評価内容		・郷土の音楽の特徴を生かした表現活動ができたか。		・日本の音楽の独特な情緒や雰囲気を味わえたか。 ・箏の音色や奏法による表現の特徴を感得できたか。		

6 本時の実際

過程	時間	学習活動	学習形態	指導上の留意点 (○は評価)
導入	5	<p>(1) 課題意識を持ち、学習課題を把握する。</p> <p style="text-align: center;">学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「郷土の民謡には、どのような特徴があるのだろうか。」</p> </div>	一斉	<p>(1) 課題意識を持たせ、課題を把握させる。</p> <p>本時の学習の進め方を確認する。</p> <p>○ 学習課題や授業の流れを把握できたか。</p>
展開	40	<p>(2) 歌唱曲「赤い川の谷間」と民謡「鹿児島小原節」を聴き比べる。</p> <p>(3) 気が付いたことをまとめる。</p> <p>(4) グループ内で話し合ってまとめる。</p> <p>(5) グループごとにまとめたことを発表する。</p> <p style="text-align: center;">予想される特徴</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>歌詞について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島のこと歌われている。</li> <li>・鹿児島弁が使われている。</li> <li>・「オハラハー」が必ず入る。</li> <li>・7775調</li> </ul> <p>メロディーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使われない音がある</li> <li>・鹿児島の雰囲気が出ている</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和楽器で伴奏されている</li> <li>・唄はやしがある</li> <li>・地声で歌っている</li> <li>・おはら祭りに使われる</li> </ul> </div> <p>(6) 特徴を理解する。</p>	<p>一斉</p> <p>個人</p> <p>小集団</p>	<p>(2) 楽譜を準備し、その曲の違いや特徴に気付かせやすくする。</p> <p>(3) 気が付いたことを自由に書かせる。</p> <p>○ それぞれの曲の違いや特徴に注意して鑑賞できたか。</p> <p>(4) それぞれが聴き取って気付いたことや感じ方等、お互いの発表から学び合いながら、まとめさせる。</p> <p>(5) 必要に応じて補足説明や助言を行う。</p> <p>(6) 発表、または教師の説明により特徴を理解させる。</p>

終末	5	(6) 学習のまとめをする。  (8) 次時の予告をする。	個人  一斉	(7) 学習のまとめをする。 ○ 学習内容を振り返り、課題が達成されたか確認させる。 (8) 次時の学習を知らせる。
----	---	-------------------------------------	--------------	--

評価 郷土の民謡の様々な特徴をとらえることができたか。

## 7 考察

生徒は、音楽の時間にとりあつかう歌唱曲や流行歌等については関心を示すが、日本民謡や日本の伝統音楽に対しては、あまり興味を示さない傾向にある。本題材では、生徒の興味・関心を高めるために、聞く機会の多い郷土の民謡「鹿児島小原節」を取り上げたが、旋律は知っていても楽曲の特徴や成り立ちについては、全くといって良ほど知らなかった。しかし、学習を進めていくうちに、民謡の特徴を感じ取り、関心を高める生徒が増え、「学習していくうちに好きになった。」という感想や、さらには自分自身で「他の民謡を調べてみたい」という課題を立てたりすることができる生徒も増えてきた。

これまで、「我が国の音楽」、「日本民謡」と言えば、事前のアンケート結果に示したような「つまらない」とか「古い」といった先入観があり、なかなか受け入れなかったが、日本の音楽であっても、その音楽の特徴や楽しさに気付くと、興味を持って受け入れるのだということを改めて感じた。今後、「我が国の音楽」に対する違和感、抵抗感を取り除く工夫をし、親しみを持たせると共に、さらに興味・関心を高めさせたい。